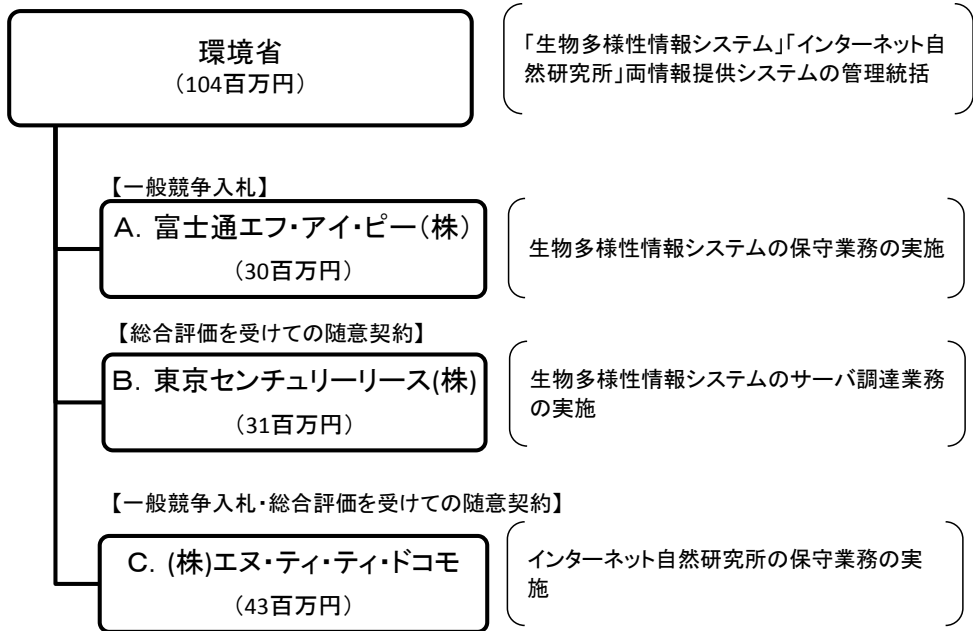


行政事業レビューシート

(環境省)

予算事業名	地球規模生物多様性情報システム整備推進費(平成22年度に「生物多様性情報システム整備推進費」と「インターネット自然研究所バージョンアップ事業費」の組替)		事業開始年度	平成6年度		作成責任者
担当部局	自然環境局		担当課室	生物多様性センター		センター長 水谷知生
会計区分	一般会計		上位政策	生物多様性の保全等の推進に必要な経費		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	生物多様性基本法第22条、第24条 自然環境保全法第4条		関係する計 画、通知等	第3次生物多様性国家戦略		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	環境省の自然環境保全基礎調査の成果等をWEBサイトを通じて広く提供し、多様な主体が共有することにより生物多様性の保全への活用を図るための情報システムの維持運営。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	自然環境保全基礎調査の成果をはじめとする生物多様性情報の収集・管理・提供を行う生物多様性情報システム(J-IBIS)、全国各地の様々な自然情報を幅広く提供し、自然環境学習の教材としても利用できるインターネット自然研究所(IT-LAB)のシステムを管理・運営する。					
実施状況	生物多様性情報システム(J-IBIS)及びインターネット自然研究所(IT-LAB)について、各種情報の提供を行うためのシステム管理を継続的に行った。両システムの稼働率は99.1%(*)。J-IBIS:総ページ閲覧数 12万件/月、GISデータダウンロード数300件/月、IT-LAB:総ページ閲覧数 100万件以上/月。 *システムバージョンアップのための停止が年6回(各5時間)、施設電力点検のための停止が年1回、2日間。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	142	107	105	103	101
	執行額	150	97	104		
	執行率	106%	91%	99%		
	総事業費(執行ベース)	150	97	104		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	本事業についてはそれぞれ請負契約に基づき実施しており、請負業者が事業を履行するにあたっては、環境省の監督職員の指示に基づき事業を遂行するとともに、事業結果等の成果品により検査職員が適正に履行されたことを確認している。				
	見直しの 余地	自然環境保全基礎調査の成果をはじめとする生物多様性情報の収集・管理・提供を行う情報提供システム及び全国各地の自然情報を提供するシステムについては、これまで相当数のアクセスがあり、今後とも当システムの維持により一層の情報提供を行う必要がある。 各請負契約の実施にあたっては、一般競争入札等の価格競争により実施しているものであり、予算の範囲内で十分な成果を上げているが、引き続き競争性のある契約を実施するとともに、インターネット自然研究所のライブカメラについて、維持経費の軽減を図れる機器への更新を検討することなどにより効率的なシステムの維持運営に努める。				
予算・監 視の・ 所効 見率	一部改善 (システム維持の必要性は認められるが、仕様書の見直し等でより効率的に執行をするべき。)					
補 記						



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A. 富士通エフ・アイ・ピー(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム保守業務費	30			
計		30	計		0
B. 東京センチュリーリース(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム(サーバ)調達業務費	31			
計		31	計		0
C. (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム保守業務費 等	43			
計		43	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0